

電子複写不可

第三軍史實資料
軍直部隊史實資料(三)

防衛研修所戰史室

2408-4
1-1

(3)
沖繩
161



第三十二軍 史實資料

三) 科	資	實	史	隊	部	直	軍
	司	同	同	同	同	同	同
		機	機	機	機	機	機
		閱	閱	閱	閱	閱	閱
		鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡
		第	第	第	第	第	第
		一	一	二	二	三	四
		五	四	三	二	一	一
		大隊	大隊	大隊	大隊	大隊	大隊

9

沖繩作戰
ニ於ケル
獨立機關銃第十四大隊史實資料

昭和二十二年三月二十五日
第三軍殲務整理部

獨立機關銃才十四大隊(球才二八〇九部隊戰術經過概要(略歴))

昭和十九年七月十七日東部才六二部隊ニ應召ニ在リ勤負

同 十九日勤負完結

同 二十四日部隊出發

同 二十六日夕刻門司駛着

同 夜間司才之清瀧町附近ニ宿營ス滞在期間吾此ノ間機關

銃試驗射撃並ニ對空射撃訓練ヲ行フ

宿營間二回ニラツク空襲ヲ受ケタルモ全負傷狀ナシ志氣益々旺盛ナリ

同年八月一日門司港出發長崎鹿兒島奄美大島ヲ經テ

同月十日氣候風土ノ異ナル亞熱帶ノ地沖繩島那霸港ニ

上陸直ニ縣立才ニ中學校ニ入ル才九師團(武部隊)ニ配屬サル

光緒二十一年內田知春中尉所長と云

機隊機隊才五中隊(高崎隊)部隊直轄

才三中队(由村隊)步兵才三中队配屬
才三中队(久保忠隊)步兵才三中队配屬

和十九年九月月中旬才一中隊主力(所屬才三隊編成中隊長内田知春)

定。從事又十月上旬帰隊入
同年十一月才九師團台灣へ新進したる才三師團に配屬変更を命ぜられ

才一中隊(内田隊)才三師團獨立歩兵才三三大隊に配屬首里
地区防衛隊トナル

才三中队(石角隊)部隊直轄
才三中队(久保忠隊)指揮班(野山)隊甲賀山隊ハ才四旅團

才十五大隊ニ配屬
同中隊高麗山隊古瀬小隊ハ部隊直轄トナル

昭和三年三月廿四日大空襲に相付て全島に亘り艦砲射撃開始

始て同年四月十日敵嘉手名ニ上陸スルヤ巨砲を首里市北方約三四軒線に攻撃す

部隊ハ(才三中队才三中队)同配屬部隊(部隊石角)

敵高麗攻撃を受ん事一日激戦ニシテ續々砲撃

及折し同年四月下旬乃至五月上旬遂に部隊長以下全員玉碎ス此戦中才三師團同配屬部隊軍司令官ヨリ

慰状ヲ当大隊ニ師團長ヨリ賞詞ヲ受與セラル

壯烈ナル戦死ヲ遂分々將校氏名
部隊長陸軍中佐 村山甚太郎 同隊附陸軍中尉 山川隆一

同副官陸軍中尉 出村秀雄 同隊附陸軍中尉 竹内正壽

并計本陣 伴信雄

63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

本營大尉 伴信雄
早田中尉 野下清治
第三師團長陸軍中尉 石原万助

大尉 西田良夫
美山藤八
高松博道
吉原 栄
本師團長 森 一

223 掃 考 小

五月廿日付越前市市示而二至ニヤ首里地区に防衛隊を駐屯せしめ大隊
(本師團長) 陸軍中尉 石原万助 (中隊 岡田隊) 長岡隊 (本師團長) 陸軍中尉 伴信雄
は前年より開始され、在りては國土防衛に大ニ功を奏し、戦時中は敵機襲撃に對シテ大ニ功を奏し、本師團長は
伏見

五月十八日付越前市市示而二至ニヤ首里地区に防衛隊を駐屯せしめ大隊
加多中隊 吉岡隊 西田隊 (自衛隊中隊) 八幡長 柏山少佐、指揮下ニ入ル
六月十八日付越前市市示而二至ニヤ首里地区に防衛隊を駐屯せしめ大隊
同日二十日付越前市市示而二至ニヤ首里地区に防衛隊を駐屯せしめ大隊
山城道に防衛隊を駐屯せしめ大隊

派遣ニシテ神奈川縣大隊連入シテ中隊、大隊ヲ以テ二十日ヨリ、次ニ三人ヲ組トセル
新込隊ヲ構成故陣ニ新込ム
二十日甲朝大隊解散ス

◎ 越前因銃才十四大隊 (球才八八九部隊) 才一中隊行動 (戦況)
昭和三年四月廿日敵上陸マテ、行動ニ部隊戦中概要ニ記載セリ
昭和三年四月廿日基干名ニ敵上陸ヲ開始セルヤ才一中隊ハ才一
十二師團独立歩兵第廿二大隊 (大隊長磯崎中佐) ニ配屬セル
首里地区防衛隊トシ師團直轄トナリ敵首里前線ニ至ル
迄出撃セサル情況ニテシタルモ防衛地区内移動頻繁ナシ
四月十九日午前五時十分頃島尻郡辨岳岳田五高地 (首里
市東北方約三料) ニ於テ陣地変更中敵艦砲一直接彈
ヲ受ケ中隊最初犠牲者ヲ出セリ

戦死 陸軍伍長 加藤友三郎 (神奈川県出身)

全 陸軍兵隊 藤政栄一 (埼玉縣出身)
全 陸軍上等兵 田島一郎 (東京市出身)

以上三名、其靈八幡ヶ岳附近ニ埋葬ス

重傷 陸軍上等兵 細谷五郎 (神奈川県出身)

同日三月一日早朝石野駐病院於テ戦死ス
其靈ハ暫不申テ都落ニ埋葬ス

2263
記帳
作同の誤

四中隊

偶々四月二十日頃敵棚原(青里北方約千四行)ノ戦如古
西原前田線ニ進出シ米ノ米ニシ隊ハ(少隊長内田作中尉)機
関銃ヲ少隊ヲ指揮シ敵大隊米軍隊中隊長山下中尉
率ヘテ(二協力ス)棚原附近ニ陣地ヲ占領シテ
モ同月二十六日ノ戦斗ニ於テ戦死傷者ヲ出セ

山下善彰

戦死 四月三日 陸軍上等兵 横田源三 (東京市出身)

伝久間重次郎 (千葉県出身)

官野智彦 (横濱出身)

田中一実 (東京市出身)

吉野正夫 (神奈川県出身)

田村賢次 (京市出身)
夏初之陸軍中尉 内田保太郎 (京市出身)
夏初之陸軍中尉 大脇新吉 (京市出身)
夏初之陸軍中尉 大脇新吉 (京市出身)
夏初之陸軍中尉 大脇新吉 (京市出身)
夏初之陸軍中尉 大脇新吉 (京市出身)
夏初之陸軍中尉 大脇新吉 (京市出身)
夏初之陸軍中尉 大脇新吉 (京市出身)
夏初之陸軍中尉 大脇新吉 (京市出身)
夏初之陸軍中尉 大脇新吉 (京市出身)

五月二十八日 頃首里市西北方三軒経路附近 敵進入
来り加三少隊 (小隊長清水正行) (配属大隊才) (線中隊才)
第三中隊 (野中) 協力スル命也 (大隊正隊長才) 十日前
より道標老高地附近 陣地ヲ占領シテ 九月十日 一日
激戦 於テ左に戦死者ヲ出セリ

五月十七日 戦死 陸軍上等兵 荒井仙翁 (京市出身) 敵前 三回末
下近接 於テ 掃蕩 戦 於テ 壯烈 戦 死 了 遂 夫
陸軍中尉 清水正行 (山梨縣出身)
陸軍中尉 石山 市 (京市出身)
五月二十日 戦死 陸軍上等兵 中村義隆 (千葉縣出身)

岡本保家 (高野山身)
 榎原良吉 (高野山身)
 金剛 勇 (高野山身)
 同仁自守部兵衛 (城野山身)

五月中旬、首里市前面ニ攻撃シ来リ、首里地区防衛ハ
 戦ヲ開始ス。五月十九日早朝、首里市内ニ進入シ中
 隊ハ梅ノ下堅固ニ陣地ニ据リ頑強ニ抵抗セシ。連日連夜
 ニ互ニ艦砲ヲ連射シ、敵ノ攻勢強靱ニシテ中隊兵力
 一悉ク失ヒタリ

五月十九日 戦死 陸軍中尉 松田茂雄 (東京出)
 五月三十日 陸軍軍曹 山澤春太郎 (埼玉出)
 衣笠 達雄 (東京出)
 衣島 貞三 (東京出)
 五月十九日 陸軍上等兵 山根 明義 (東京出)
 鈴木 太郎 (神奈川出)

六月二十日	陸軍中尉	高林壯吉	渡辺恒重	(山梨出)
六月二十日	陸軍中尉	内田作	田島正一	(東京出)
六月二十日	陸軍中尉	石井清三	元倉貞次	(千葉出)
六月二十日	陸軍中尉	坂田誠三	片倉勇夫	(神奈川出)
			大木俊行	(神奈川出)
			本橋昌成	(東京出)
			吳宗源次郎	(神奈川出)
			関根久次	(埼玉出)
			池田有雄	(千葉出)
			鈴木居雄	(千葉出)
			大塚秋彦	(神奈川出)
			鈴木友治	(埼玉出)

大佐位
減名

青子青島死都南都地区後退命令了師団後衛尖兵ヲ以テ
 喜原武中島ニ後退スルニ至ルモ、追出ハ更ニ早ク有リ且早不
 備機才四大隊長須山少佐ノ指揮下ニ入リ、同月十九日名城喜原武
 中附近ニ於テ戦斗セリ、戦斗力益々低下スルニ至リ、彈糧米糧食
 缺乏ニ爲リ、二十日早朝大中队解散シ、中隊ハ二十日、二十五日迄
 ニ散々任ハ斬込ニ或ハ国頭突破ヲ敢行セリモ生存者十内右左外
 戦死ヲ遂ゲタルモノ如シ

行方不明者

六月二十日 陸軍中尉 高林壯吉
 六月二十日 陸軍中尉 内田作
 六月二十日 陸軍中尉 石井清三
 六月二十日 陸軍中尉 坂田誠三
 六月二十日 陸軍中尉 高林壯吉
 六月二十日 陸軍中尉 内田作
 六月二十日 陸軍中尉 石井清三
 六月二十日 陸軍中尉 坂田誠三
 六月二十日 陸軍中尉 高林壯吉
 六月二十日 陸軍中尉 内田作
 六月二十日 陸軍中尉 石井清三
 六月二十日 陸軍中尉 坂田誠三

林谷全治
 六月二十一日 陸軍中將 陸軍部
 陸軍中將 石中健吉
 六月二十一日 陸軍中將 市川朝男
 陸軍中將 加藤一郎
 六月下旬 山崎定雄
 六月下旬 山池光輝
 六月下旬 兵長 西谷四郎
 六月下旬 欠澤武
 六月下旬 上野山下三好
 六月下旬 塚本豊
 六月下旬 吉野寛治
 六月下旬 兵長 山本元司
 六月下旬 陸軍中將 西田平作
 六月下旬 陸軍中將 星野多一
 六月下旬 陸軍中將 岸本素郎
 六月下旬 陸軍中將 一善大村上原義
 六月下旬 陸軍中將 秋田良吉
 六月下旬 陸軍中將 海津土郎
 六月下旬 陸軍中將 吉川勇男
 六月下旬 陸軍中將 公塔秀吉
 六月下旬 陸軍中將 大野晃
 六月下旬 陸軍中將 高木利久
 六月下旬 陸軍中將 吉川伊兵衛

一部隊履歴

昭和十九年七月十八日 坂橋独立機回銃隊より大隊編成是結
 同日 年七月三十日 東京出發
 同日 年八月一日 門司着
 同日 年八月十日 沖繩本島那覇港上陸開始 沖繩本島防衛任務
 同日 年八月十四日 独立機回銃隊より大隊編成完結
 一部隊 作戰開始時 編成
 編成総員 均三〇〇名
 大隊本部長 大隊長 陸軍中佐 村山甚太郎
 陸軍少尉 伴信夫

陸軍中尉 野下壽治
陸軍中尉 出村秀雄

書記 陸軍中尉 吉沢一

陸軍中尉 高橋 史
陸軍中尉 高橋 史

中隊 中隊長 陸軍中尉 内日 和春
編成委員 一〇八名

中隊 中隊長 陸軍中尉 石原 高助
編成委員 一〇七名

中隊 中隊長 陸軍中尉 一〇五名(?)
編成委員 久保 正之

中隊 中隊長 陸軍中尉 一〇八名
編成委員 久保 正之

一 指揮隷屬配屬關係

作戰開始前

第六十四大隊 (中隊) 陸軍中尉 一〇五名(?)
編成委員 久保 正之

中隊 陸軍中尉 一〇八名
編成委員 久保 正之

作戰開始後

第六十四大隊 (中隊) 陸軍中尉 一〇五名(?)
編成委員 久保 正之

中隊 陸軍中尉 一〇八名
編成委員 久保 正之

六月上旬以降 陸軍中尉 一〇五名(?)
編成委員 久保 正之

陸軍中尉 一〇八名
編成委員 久保 正之

17 MGBms